

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター歩路			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月15日		～	令和8年1月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和8年1月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「活動内容の工夫」、「お子さま、ご家族のニーズに応じた支援」、「専門的な支援の提供」について、強みだと思われます	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さま達が楽しみながら、さまざまな経験ができるよう、職員間でアイデアを出し合い実践しています。また、セラピストからの助言を取り入れ、より専門性のある活動の提供に努めています。 ・お子さまやご家族のニーズを聞き取り、個別支援計画書へ反映し、日々の支援を行っています。また、セラピストによるアセスメントや意見を取り入れ、専門的な支援の提供に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、さまざまな活動の提供を行い、お子さまが楽しみながら、「できた」経験を通して、やってみようとする気持ちや社会性を育めるよう支援します。また、保育士、児童指導員、セラピストで協働し、専門的な支援の提供を行います。 ・これまで実施している行事を計画的に実施するとともに、よりご家族が安心して子育てができるようなサポートの在り方を検討し、実践します。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故発生時の対応や、災害マニュアル等の周知の方法について改善が必要だと感じます。	・保護者へ周知する機会の確保が必要だと感じています。	・契約時に事故発生時の対応、災害マニュアル等の設置場所について、具体的に説明します。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会の確保について検討が必要です。	・事業所内でのクラス交流を実施し、発達段階や障害の有無を問わず、さまざまな人と関わる機会や地域資源を活用した園外療育等を実施し、地域とのつながりの機会の確保に努めていますが、現在の取り組みに加え、地域のお子さまたちと一緒に活動する機会について、どのような形で実施できるか検討する必要があります。	・活用できる社会資源や園外での活動の機会を有効に活用し、地域で他のこどもと活動する機会の確保に繋がります。
3			